

水土里ネットおおいた

土地改良広報 No.327



「凍てつく白菜畑」 渋谷 恭子

Contents

02 会長あいさつ

03 進藤金日子 あいさつ

04 宮崎雅夫 あいさつ

05 会議・要請活動

- ・令和元年度 大分県土地改良区事務局連絡協議会総会及び人権研修会
- ・大分県農業農村整備事業推進協議会の顧問県議が現地視察
- ・『おおいた水土里ネット女性の会』が現地研修会を開催
- ・第42回全国土地改良大会が開催される
- ・令和元年度 第2回監事会監査、第3回理事会が開催される
- ・「大分ため池技術研究会」技術講演会

- ・第45回大分県農村女性中央研修
- ・「農業農村整備の集い」開催される
- ・九州協NN・九州土連合同要請活動～大分県NN推進協議会等合同要請活動
- ・令和元年度 土地改良関係団体職員研修会
- ・令和元年度大分県畑地かんがい施設対策推進協議会現地研修会の開催
- ・令和元年度 大分県土地改良区事務局連絡協議会研修会
- ・「大分ため池技術研究会」現場研修会

11 インフォメーション

- ・「水土里ネット大分」大分県B級軟式野球選手権大会優勝

12 吏員が語る 大分県土地改良史〈第9回〉

1

2020
January



会長あいさつ

大分県土地改良事業団体連合会

会長 義経 賢二

新年明けましておめでとうございます。会員並びに関係各位におかれましては、日頃より本会の運営並びに農業農村整備事業の推進につきまして、格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

2019年度は平成から令和へと変わった大きな節目の年でありました。連合会や土地改良区を取り巻く情勢も「土地改良法の一部改正」の施行に伴い、大きな変革が始まる年ともなりました。当連合会では、この改正の目玉となる改良区の複式簿記への移行に対し、会計の巡回指導や資産評価を通して会員改良区の支援を行うとともに「土地改良区への公的助成」についても引き続き関係各所に要望してまいります。

また、7月には「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」が施行される中、全国の広範囲で災害が多く発生した年でもありました。九州北部を中心とした8月の前線に伴う大雨、9月の台風15号、10月の台風19号等によって河川の氾濫やため池の決壊などにより全国各地で大きな被害が発生しました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

大分県内では大きな災害はなかったものの、数市町で発生した災害の支援を行っています。また、土地改良事業団体連合会九州協議会の応援要請を受け、佐賀県へ1ヶ月間職員を派遣したところです。本会といたしましては、農業農村整備事業の推進はもとより会員への災害支援が迅速かつ適切に行えるよう引き続き技術力の向上と研鑽に努め、職員一丸となって取り組んでまいります。

さて、来年度の国の農業農村整備事業予算は、令和2年度当初予算4,433億円、令和元年度補正予算1,542億円、さらには令和2年度臨時・特別の措置540億円を加え総額6,515億円の政府原案が閣議決定されました。老朽化が進行する農業用施設を適切に管理し更新していくためにはまだまだ予算が必要と考えています。今後も予算確保のために九州農業農村整備事業推進協議会、県農業農村整備推進協議会並びに県土地改良区理事長会等の関係団体と連携を図るとともに、全国水土里ネット並びに都道府県水土里ネット会長会議顧問である進藤金日子、宮崎雅夫両参議院議員のご支援を仰ぎながら関係各所に強く要請活動を行ってまいりたいと考えています。

最後になりましたが、農地、農業用施設を良好な状態で後世代へ引き継いでいくために頑張っておられます会員をはじめ、関係者の皆様に感謝申し上げますとともに、引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げ、新年の挨拶といたします。



新年あいさつ

都道府県水土里ネット会長会議顧問

参議院議員 進 藤 金 日 子

新年明けましておめでとうございます。皆様には輝かしい新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。昨年は、「令和」の御代に移り、多くの国民が寿ぐ中で天皇陛下が御即位されました。「令和」の時代が平和で穏やかであるようにあらためてご祈念申し上げる次第です。他方、昨年も多く目の自然災害が発生しました。被災された全ての方々に心からお見舞い申し上げます。今年こそは災害の無い年になるように祈念してやみません。

今年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、総務大臣政務官としての私の担務である「国勢調査」（初回開始後百周年）も行われます。多くの国家的な行事の成功に向けて、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

さて、昨年末に令和元年度補正予算と令和2年度当初予算の政府原案が閣議決定されました。土地改良予算としては、総額で6,515億円（対前年度比64億円増）を確保できました。これも偏に、農業の競争力強化と美しい農山村の形成に不可欠な土地改良の実施に向けての現場からの強い要請と関係者の皆様の熱意を政府と与党にしっかりと受け止めていただいた結果です。貴重な予算が一日も早く現場に届くよう、今次通常国会で早期成立に向けて努力してまいります。

今回の予算の特徴は、引き続き「国土強靱化」に重点が置かれたこと、水田の高度利用対策が更に重点化されたこと、農業の競争力強化に加えて中山間地域等の条件不利地域の振興対策が手厚く措置されたことだと捉えています。予算の増額措置により土地改良が更に促進されますが、貴重な予算を効率的、効果的に執行し、土地改良に対する国民の皆様の期待に応えていくことが重要です。

昨年末、自民党農村基盤整備議員連盟総会において、ため池の整備促進を図る特別措置法を議員立法として検討することが提案・了承されました。ため池の保全管理を図る法律は、昨年制定・施行されましたが、整備促進に関する多くの課題が現場から提起されています。現場の実態に真摯に耳目を集めつつ検討を深め、与野党問わず多くの国会議員のご理解を得るべく努力してまいります。

皆様、ご案内のとおり私の同志である宮崎雅夫さんも参議院議員として活躍しております。これも皆様方のご理解とご支援の賜物です。宮崎議員と私とが水鳥の強固な水掻きとしてフル稼働して、皆様と連携しながら「闘う土地改良」を共闘し、引き続き諸課題の解決とともに令和の新たな時代を切り拓くべく専心努力してまいりますので、ご指導とご支援を宜しくお願い申し上げます。

最後に大分県の土地改良に携わる皆様方の益々のご発展とご家族共々素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。



新年あいさつ

都道府県水土里ネット会長会議顧問

参議院議員 宮崎 雅夫

新年明けましておめでとうございます。大分県の土地改良関係の皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、私にとっての昨年は大きな前進の年でありました。一昨年の1月から、土地改良の推進、農山漁村の振興のため、地球8周分に当たる30万キロ以上を移動しながら全国各地をお伺いし、地域の状況を自分の目で見て、皆様からのご意見を自分の耳で聞き、私の考えを自分の口で話をさせていただくなどの政治活動を行ってまいりました。大分県の皆様をはじめ全国の皆様からご支援をいただき、お陰様をもちまして昨年7月末の参議院議員通常選挙において当選の栄に浴することができました。

当選後、8月1日に召集された臨時国会で初登院し、10月4日に召集された臨時国会では、農林水産委員会、決算委員会、地方創生及び消費者問題に関する特別委員会、資源エネルギーに関する調査会に所属しております。農林水産委員会等で3度質問に立たせていただき、土地改良の推進や予算の確保などこれまでの活動中皆様からいただいたご意見を私の質問として農林水産大臣等にしっかり伝えました。党での各種部会での発言なども含め、皆様と国政を繋ぐパイプとしての役割を果たせるよう日々努力してまいります。

私は「土地改良、農山漁村は未来への礎」と訴えてまいりました。令和の新しい時代に皆様のご意見を伺いながら土地改良を推進することにより、世界に誇る我が国のすばらしい農山漁村を子供たち孫たちに引き継げるよう、先輩の進藤金日子参議院議員と力を合わせて努力してまいります。12年ぶりに土地改良二人体制となり、人口減少社会に突入した我が国の状況を踏まえ、土地改良も必要な見直しも大胆に進めていきたいと考えております。また、農村女性の創造力や企画力、行動力などは、これからの農村振興を加速する重要な原動力と考えています。昨年12月10日には「全国水土里ネット女性の会」が設立されたところであり、今後の活発な活動に私もお手伝いをさせていただきたいと思っています。引き続き進藤議員と私にご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

今年は、2020東京オリンピック・パラリンピックが開催され、更に多くの外国人の方が日本に来られることが期待されています。日本の農業、農村のすばらしさを皆様どんどん発信してまいりましょう。

最後に、本年が皆様にとってよりよい一年となりますようお祈り申し上げ、年頭のあいさつといたします。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

会議・要請活動

●令和元年度 大分県土地改良区事務局連絡協議会総会及び人権研修会

9月26日（木）土地改良会館大会議室において、「令和元年度大分県土地改良区事務局連絡協議会総会」及び人権研修会が開催された。この協議会は土地改良区がその自主性を確保し、適正な管理と運営を目指すと共に事務処理の合理化、活性化について検討し、土地改良区の健全化を図ることを目的として県内土地改良区のうち、30団体90名を会員として構成されており、当日は平成30年度の決算と令和元年度の事業計画等について審議され可決された。

また、総会終了後には大分県の職員の方々及び当連合会の職員も参加し、毎年恒例となっている人権研修会を行い、今回のテーマである「多様性を認め合う社会へ」について研修を受けた。



●大分県農業農村整備事業推進協議会の顧問県議が現地視察

去る10月2日に大分県農業農村整備事業推進協議会顧問（志村学県議他5名）の県議4名が、地域農業の振興発展に必要な農業農村整備事業の実施状況について現地視察を行った。

視察は、大分県農林水産部農村整備計画課加藤参事監をはじめとする県関係職員と連合会義経会長、石井常務が参加の中、防災ダム事業で改修中のため池、農業水利施設保全合理化事業で水路トンネルを改修中の地区、農地耕作条件改善事業で区画整理が実施され、企業参入にて営農が開始された地区の計3か所で行われた。

ため池の改修現場では県の担当者から、水路トンネル改修の現場では施設管理者である明治大分水路土地改良区の野田事務局長からそれぞれ施設の重要性や事業費、工期等について説明がなされ、ほ場整備地区では、高収益畑作物の導入状況や営農状況並びに経営状況について経営者から説明を受けた。



水路トンネル工事の概要説明を受ける顧問団

（左から衛藤県議、駕海県議、石井常務、義経会長、野田事務局長、木付県議、森県議）

●『おおいた水土里ネット女性の会』が現地研修会を開催

おおいた水土里ネット女性の会（提子土地改良区事務局長指原洋子会長）は、去る10月11日に県内の土地改良施設の概要や管理状況を学び知識やスキルの向上と女性ネットワークの促進のために現地研修会を開催した。

現地研修では会員43名中22名が参加し、城原井路土地改良区の小水力発電施設を見学するとともに、海外並びに全国から視察の多い当該施設周辺で植栽活動も行った。また、国営大野川上流土地改良事業により整備され、来年度から供用開始される大蘇ダムを訪問し、国営大野川上流農業水利事業所調査設計課半田設計係長から施設の概要説明を受けた。



小水力発電施設横での植栽活動



大蘇ダム堤頂にて記念撮影

●第42回全国土地改良大会が開催される

10月16日（水）、令和最初の全国土地改良大会が、岐阜市岐阜メモリアルセンター「で愛ドーム」で開催された。今回で42



回目となる今大会では『清流で未来をうのおす土地改良～水土里の恵みを新たな世代へ～』をテーマに、農業・農村の重要性と土地改良が果たす役割を広くアピールするため全国から約4,000名が参集した。大分県からは、義経会長を団長に県下各地より39名が参加した。

式典では、開会に先立ち、台風19号などの犠牲になった方々に黙祷をささげご冥福を祈った後、開催県である藤原勉岐阜県土地改良事業団体連合会会長より挨拶。続いて、全土連二階会長の主催者挨拶、その後古田肇岐阜県知事、柴橋正直岐阜市長の歓迎挨拶。

来賓挨拶として伊東正孝農林水産副大臣、岐阜県出身の野田聖子衆議院議員、水野正敏

岐阜県議会副議長、進藤金日子参議院議員、宮崎雅夫参議院議員より祝辞があった。

続いて行われた土地改良事業功績者表彰では、全土連会長表彰を伊美郷土地改良区 芹川利雄前理事長が受賞された。

次回第43回大会は、令和2年10月14日に群馬県高崎市での開催が決定している。



●令和元年度 第2回監事会監査、第3回理事会が開催される

10月21日、第2回監事会・監査が土地改良会館で開催され、令和元年4月から9月末までの一般会計・特別会計決算についての中間監査と第2回補正予算案の審議が行われ承認された。監事から職員採用の方針を問われたことに対して義経会長は、受験者が少ない現状ではあるが、OBの力を借りて若手を育成し人材確保に当たると述べた。最後に、田中総括監事が健全な運営に努めていただきたいと述べ、会を閉じた。

監事会・監査を受けて11月8日には、令和元年度第3回理事会が同じく土地改良会館で開催され、令和元年度一般会計・特別会計中間決算の報告、第2回補正予算案について審議され、いずれも原案どおり承認された。



第2回監事会



第3回理事会

●「大分ため池技術研究会」技術講演会

産学官が連携して、ため池に関する技術力の向上と農業土木技術の継承を目的に「大分ため池技術研究会」主催の3回目の技術講演会が令和元年10月23日に開催され約150名が参加した。会員から、工事の省力化工法及び管路更正工法等の講演並びにワーキンググループ研究活動の概要発表が行われた。

また、国の研究機関（農研機構）泉明良研究員より、ため池防災支援システムを用いた防災・減災の取り組みと耐震対策の技術について特別講演をいただいた。



●第45回大分県農村女性中央研修

今年度も10月23日から25日にかけて大分県農村女性中央研修が実施された。本研修は、農林水産省や国会議員に農村女性の立場から地域農業の現状を伝え、課題について意見交換等を行うとともに各種施設見学を行い、見識を深めるために毎年実施されており45回目を迎えた。

農林水産省では、農村振興局幹部の皆さんに「おおいた女性の声」に参加女性7名より手渡し要望等を伝えた。その後、農村振興局水資源課柵木環課長ほか3名の担当職員の方が出席の中、多面的機能支払、水路の老朽化、土地改良法の一部改正等のそれぞれの現状と課題等について意見交換が行われた。都内施設見学では、大田市場、大分県アンテナショップ「坐来 大分」や国会議事堂等の視察を行った。



農村振興局整備部安部伸司部長と女性参加者



大田市場見学



国会議事堂前にて

●「農業農村整備の集い」開催される

11月11日、砂防会館で「農業農村整備の集い」が土地改良連合会と土地改良区関係者1,300名以上が参加して盛大に開催された。全土連の二階会長は「土地改良にとって12年ぶりの車の両輪体制が実現した。これは戦う土地改良の旗印の下、組織一丸となって闘った成果だと称え、今後も更なる高みを目指していこう」と力強く挨拶された。来賓挨拶では江藤農林水産大臣等が予算の確保や土地改良推進への決意を述べた。終了後、全土連義経副会長（当会会長）が決議された要請書を愛知県土連中野会長と共に藤川財務副大臣へ面談のうえ手交した。



藤川財務副大臣へ要望書の提出



挨拶を行う江藤農林水産大臣

●九州協NN・九州土連合同要請活動～大分県NN推進協議会等合同要請活動

九州協NN・九州土連合同要請活動

11月12日、九州管内の土地改良関係者約40名が参加して農林水産省・財務相・自民党役員等に対して要請活動を行った。農林水産省では江藤拓農林水産大臣、牧元浩司農村振興局長に面談のうえ要請することができた。



江藤農林水産大臣へ要請

要請項目は以下のとおり

1. 令和2年度農業農村整備事業概算要求額の満額確保並びに九州・沖縄地域への重点配分
2. 令和元年度の事業計画に基づく補正予算も含めた追加予算の確保
3. 令和元年九州北部豪雨など、九州・沖縄各地で頻発している自然災害からの復旧・復興に必要な財源の確保
4. 防災・減災、国土強靱化のための3ヶ年緊急対策について、令和2年度で確実に完了するための十分な予算措置
5. 改正土地改良法を踏まえ、土地改良区の運営基盤強化に向けた十分な予算措置

大分県NN推進協議会要請

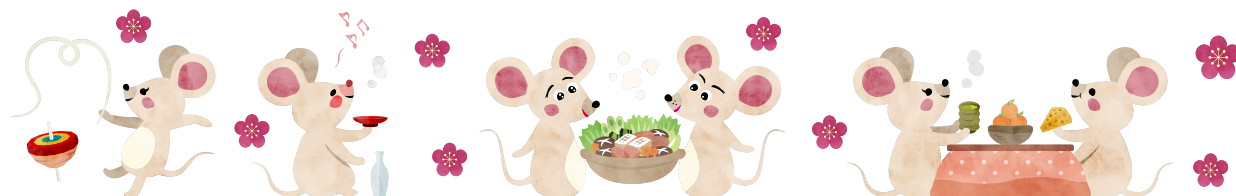
11月13日大分県農業農村整備事業推進協議会（会長：是永宇佐市長）、大分県土地改良区理事長会（会長：佐藤提子土地改良区理事長）、大分県土地改良事業団体連合会（義経会長）の三者による合同要請を農林水産省、県選出国会議員に対して行った。



安部整備部長へ要請

要請項目は以下のとおり

1. 農業の構造改革を加速する令和2年度農業農村整備事業概算要求額の満額確保並びに令和元年度補正予算の十分な予算措置
2. 防災・減災、国土強靱化のための3ヶ年緊急対策について令和2年度で確実に完了するための十分な予算措置
3. 改正土地改良法を適切に実施するための土地改良区の体制強化に向けた支援
4. ため池の改修や適正な管理・保全体制の整備など防災減災対策の推進
5. 多面的機能支払交付金制度の推進及び活動に必要な予算の確保



●令和元年度 土地改良関係団体職員研修会

11月21日（木）土地改良会館大会議室において、令和元年度土地改良関係団体職員研修会を開催し、県・市・町、土地改良区より約60名が出席した。

はじめに、大分県農林水産部農村整備計画課の佐藤洋祐副主幹より土地改良区の検査等に関する事項について、注意事項や留意事項について具体的な事例等を取り入れながら説明が行われたほか、以下の内容で研修会を行った。

研 修 内 容	講 師
土地改良区の検査指導について	大分県農林水産部農村整備計画課 副主幹 佐 藤 洋 祐
農業基盤整備資金 担い手育成農地集積資金について	日本政策金融公庫 大分支店 農業食品課 後 藤 公 崇
土地改良施設維持 管理適正化事業について	水土里ネット大分会員支援課 主 査 藤 田 義 昭
現行決算書から複式簿記への 具体的移行手順	税理士法人 林・小代会計事務所 所 長 林 浩 治



●令和元年度大分県畑地かんがい施設対策推進協議会 現地研修会の開催

畑地かんがい施設の水管理等に係る様々な課題の解決に向けて一致協力して活動することを目的として昨年5月に1市6改良区で設立した大分県畑地かんがい施設対策推進協議会（会長：佐伯和光大野町土地改良区理事長）の現地研修会が、11月22日、宇佐市安心院町の安心院土地改良区管内で開催された。

午前中、安心院支所会議室で、国営緊急農地再編整備事業が行われている「駅館川地区」の事業を興すに至った経緯や企業参入等の特徴、効果等の事業概要を宇佐市の担当者から説明を受けた。午後は、国営事業所の職員のご案内で、パイプライン布設工事の現場やブドウ、お茶、施設野菜など作物に応じた造成（オーダーメイド方式）工事で完成した工区や実施中の工区など、耕作放棄地が新しい担い手の参入により大きく変貌しつつある現場を目の当たりにして、活発な質問、意見交換が行われた。

会員のほか宇佐市、国営事業所など23名が参加した。今後も会員の課題に応じて研修会等を重ねて活動していくこととしている。



●令和元年度 大分県土地改良区事務局連絡協議会研修会

11月29日（金）大分県土地改良区事務局連絡協議会は、今年度の事業計画に沿って先進地研修会を開催し県下の会員土地改良区より28名が出席した。

3年ぶりとなる県外での研修で、今回は山口県下関市にある下関土地改良区に依頼し土地改良区の運営や事業計画等について研修を行った後、各土地改良区の現状や問題点等について意見交換を行った。



●「大分ため池技術研究会」現場研修会

12月17日に大分県東部振興局日出水利耕地事務所管内で大分ため池技術研究会の現場研修会が約70名の参加で開催された。午前中は、日出水利耕地事務所会議室で、管内の概要並びにため池3地区の計画実施状況の説明後、研究ワーキングの土取場マップ作成概要の説明が行われた。午後は、杵築市の天神ため池並びに土取場にて県担当者より工事施工内容及び土取場状況の概要説明があり、参加者より活発な質問がなされた。



インフォメーション

「水土里ネット大分」大分県B級軟式野球選手権大会 優勝

当連合会の軟式野球部「水土里ネット大分」が10月26、27日、11月2日にかけて行われた第11回めじろんカップ大分県B級軟式野球選手権大会に出場し、優勝した。

同大会の優勝チームについては大分県軟式野球連盟規定により翌年度からクラスが昇格することとなり、水土里ネット大分は最高クラスのA級へと昇格が決定した。企業チーム等、強豪チームがひしめき合うA級においても活躍が望まれる。



豊肥地区農道離着陸場について

八坂 博善



農道離着陸場は昭和61年度広域農道整備事業の拡充により、農道離着陸場調査計画が認められたものであります。

当時の本省開発課農道班の山下係長が考え出したものと記憶している。当時、大分県はフライト野菜として東京に出荷しており、豊肥地区の軽量野菜を東京市場に売り出す魂胆があったものと思っている。当時、私が耕地課企画調査係長の時代に、伊藤信二君と二人で全力投球をしてきました。

深夜の本省ヒアリングの時に「いかなる軽量野菜を大分空港から東京市場に運ぶのか」との本省の技術課から指摘があり、資料作成にあたり、技術課から伊藤君の家に電話し、深夜県庁に出向いてもらい「統計資料」から作物と生産量を報告してもらい朝までかかって、資料を作成したところです。（当時はファックスがなかった）

伊藤君にも大変迷惑をかけたところです。

深夜に大蔵説明する資料を技術課の職員と一緒に作成し、私も大蔵省に同行して一緒に補足説明したことを覚えています。

私の記憶では、豊肥地区と岡山県の笠岡地区、北海道の新得地区が採択になったと思います。

その後、当時の県農政部後藤義昭部長から「大野土地改良事務所」に転勤を命じられ、亡くなった永田芳工務課長、大野司朗係長と一緒に地元説明、関係事務所（改良普及所）等と連日、会議を開催し、何とか軽量で高価な品種の野菜をお願いしたところです。

建設工事は順調に進み、計画当時の後藤農

政部長、池辺藤之次長、戸上訓正耕地課長、管内の市町村長をお迎えして盛大な竣工式を開催したところです。

飛行は滑走路が800mしかないので九州航空の社長にお会いし、当然、小型飛行機でのフライトをお願いして何度か大分空港までの試験フライトを実施してきました。（当然、私も一緒にフライトしたところです）しかし、その後順調に事は進まず、ご案内の通りです。

最近、あまり豊肥地区にはドライブをしていませんが、「農道空港」は救急用ヘリ等が駐留していることも拝見しましたが、国費を使って地元の皆さん方が利用し、活用できるものであれば結構なことだと思います。

現職の皆さん方も小さな気持ちではなく、大きな心と自分の技術に自信を持って大分県の土地改良事業を期待し、待ち望んでいる農家の方々に奉仕できれば十分だと私は思います。

今後の皆様方のご活躍を御祈念して筆を置きます。



水土里ネット大分



大分県土地改良事業団体連合会

■事務局	〒870-0045	大分市城崎町2丁目2番25号 TEL097-536-6631 FAX097-536-6080
■中部事務所	〒870-0045	大分市城崎町2丁目2番25号（事務局3F） TEL097-536-6631 FAX097-534-4338
■南部事務所	〒879-7125	豊後大野市三重町内田742-3 TEL0974-22-1744 FAX0974-22-1798
■西部事務所	〒879-4413	玖珠郡玖珠町大字塚脇472-2 TEL0973-72-1952 FAX0973-72-3419
■北部事務所	〒879-0453	宇佐市大字上田1301-2 TEL0978-32-1740 FAX0978-33-3186

